

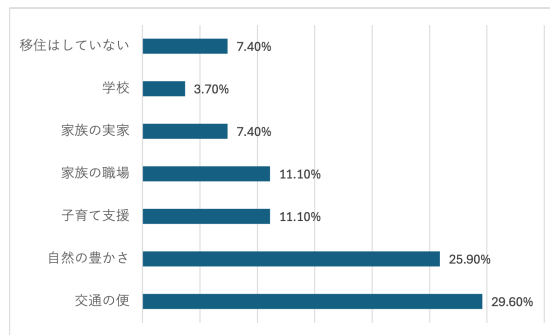
⑤ イベント成果と分析

- 参加人数：73人
- 参加者の反応：
 - 子どもたちの楽しむ様子や保護者のポジティブなフィードバック
 - 季節感を感じるアート制作への高い関心
- アンケート結果：

- あなたは京田辺出身ですか？

はい 25% いいえ 75%

- 京田辺市に移住した理由は何ですか？



- 京田辺市が子育て支援に力を入れていることを知っていますか？

はい 51.9% いいえ 48.1%

- 将来子どもたちが京田辺市を離れた時「子どもたちはまた地元に戻って来たいと思う」という意見についてどう思いますか？

賛成 88.9% 反対 0% どちらでもない 11.1%

- 成果：
 - 地域密着型の温かい雰囲気作りに成功
 - 親子の共同制作による新たなコミュニケーション機会提供
- これからの課題：
 - 参加者の安全確保や運営効率の改善
 - 広報活動のさらなる強化

⑥ トレードフェアでの報告会

- いただいた質問
 - どうしてこのイベントの保護者の方は自分の子供を参加させたと思うか
 - 保護者の満足度はわかっているのか？
- いただいた案
 - イベント会場で廃棄予定のものを使用する
 - 自然豊かな場所で開催をして自然を観察しながらの実施

⑦ 今後の展望

- 四季を感じさせる新しいイベントアイデアの提案
- 地域とのさらなる連携強化
- 今回の成果を活かした広報戦略の改善
- 「子供たちが将来戻ってきたいと思うかどうか」についての再調査。
→「地域愛着および地域とのつながりを規定する要因の探索的分析」という論文より、分析の結果、「地域活動の種別ごとに参加経験者と未経験者の地域愛着を比較してみると、経験者のほうが有意に地域愛着が高い傾向があった（分析Ⅰ）。」と述べられている。しかし、「地域活動への参加と地域愛着の因果関係を確かめることが非常に困難であり、地域活動の効果を測定するには、活動参加前後の調査が必要となる。」とも指摘されている。
この研究を参考にしながら、アンケートの内容を改善し、より多くの人を対象に調査を行うとさらに効果が期待できる。

⑧ 企画を通して得られたこと

企画を通じて地域住民との交流が深まり、地域の文化や自然の魅力を再認識する機会となった。特に、京田辺の豊かな自然を活かし、落ち葉やどんぐりなど地元の素材を活用したことで、地域ならではの季節感や資源の価値を体験する場を提供できたことは大きな成果だといえる。また、住民との協働を通じて、地域の未来を共に創るための連携の重要性も感じた。これを基盤に、地域の魅力を活かしながら持続可能な支援や活動のあり方を模索していく必要がある。